

平成 27 年度家庭エコ診断制度の事業成果について

1. 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合(平成 27 年度)

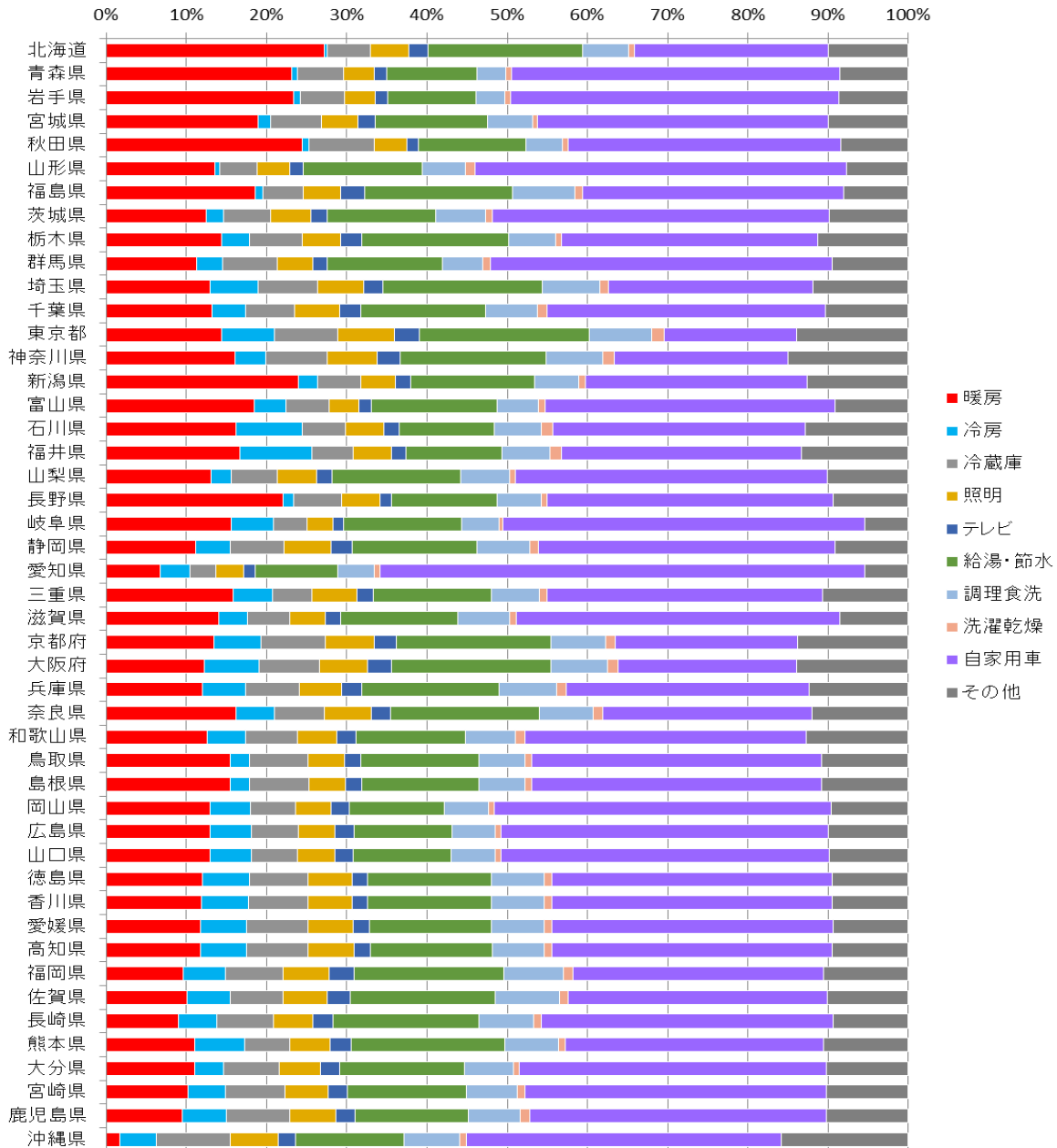


図 1 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合

- ※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO₂ 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査：平成 22 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。
- ※2 ただし、鳥取県については、平成 27 年度事業においてうちエコ診断が実施されなかったことから、周辺の県の値を参考に都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で当該県の世帯人数別世帯数を乗じて推計しました。

2. 診断時に選択された対策、および対策実施率（平成 27 年度）

表 1 受診世帯における選択数が多かった対策メニュー

対策分野	a. 対策選択数			b. 対策実施数			c. 対策実施率 (b.対策実施数/a.対策選択数)		
	ライフスタイル対策	買い替え対策	合計	ライフスタイル対策	買い替え対策	合計	ライフスタイル対策	買い替え対策	合計
給湯節水	2,620	1,755	4,375	1,860	918	2,778	71%	52%	63%
自家用車	3,055	739	3,794	2,296	405	2,701	75%	55%	71%
冷暖房	2,869	579	3,448	2,231	225	2,456	78%	39%	71%
冷蔵庫	859	451	1,310	624	177	801	73%	39%	61%
照明	61	375	436	50	214	264	82%	57%	61%
太陽光	-	402	402	-	102	102	-	25%	25%
テレビ	266	64	330	217	32	249	82%	50%	75%
調理食洗	227	34	261	162	16	178	71%	47%	68%
待機その他	207	3	210	148	3	151	71%	100%	72%
洗濯乾燥	38	27	65	23	14	37	61%	52%	57%
電力契約変更	10	0	10	0	0	0	0%	-	0%
合計	10,212	4,429	14,641	7,611	2,106	9,717	75%	48%	66%

3. 気候区分別の対策メニューの実施傾向（平成 27 年度）

表 2 気候区分別の受診世帯による選択数が多かった対策メニュー

気候区分Ⅰ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	51	42	82%
2	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	42	16	38%
3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	39	31	79%
4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	37	34	92%
5	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	36	13	36%
6	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	31	21	68%
7	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	30	24	80%
8	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	25	19	76%

気候区分Ⅱ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	14	13	93%
2	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	12	9	75%
3	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	10	7	70%
4	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	10	2	20%
5	太陽光	太陽光発電装置を設置する	7	0	0%
6	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	6	3	50%
7	給湯・節水	シャワーの時間を3割減らす	6	5	83%
8	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	5	5	100%

気候区分Ⅲ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	155	146	94%
2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	95	87	92%
3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	94	82	87%
4	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	74	37	50%
5	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	73	61	84%
6	自家用車	車の利用頻度を半分にする	64	39	61%
7	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	61	60	98%
8	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	60	51	85%

気候区分Ⅳ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	856	689	80%
2	給湯・節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	575	361	63%
3	給湯・節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	527	417	79%
4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	479	414	86%
5	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	468	350	75%
6	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	450	264	59%
7	給湯・節水	シャワーの時間を3割減らす	346	255	74%
8	給湯・節水	暖房をする時間を1時間短くする	332	275	83%

気候区分Ⅴ

順位	対策分野	対策内容	選択世帯数	実施世帯数	対策実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	49	46	94%
2	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	28	28	100%
3	自家用車	シャワーの時間を3割減らす	23	20	87%
4	自家用車	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	21	9	43%
5	冷蔵庫	車の利用頻度を減らす	20	11	55%
6	給湯・節水	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	15	4	27%
7	給湯・節水	お風呂のお湯を少なめに半身浴をする	15	10	67%
8	給湯・節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	15	8	53%

■ 気候区分に関係なく共通に選択されている対策

■ 寒冷地域に特徴的な対策

■ 温暖地域に特徴的な対策

赤字 買い替えに関する対策

※ 気候区分については、一般社団法人建築環境・省エネルギー機構が示す「住宅事業建築主の判断基準」に基づき地域を区分したものです。

4. みなし CO₂ 排出削減量、および節約金額(平成 27 年度)

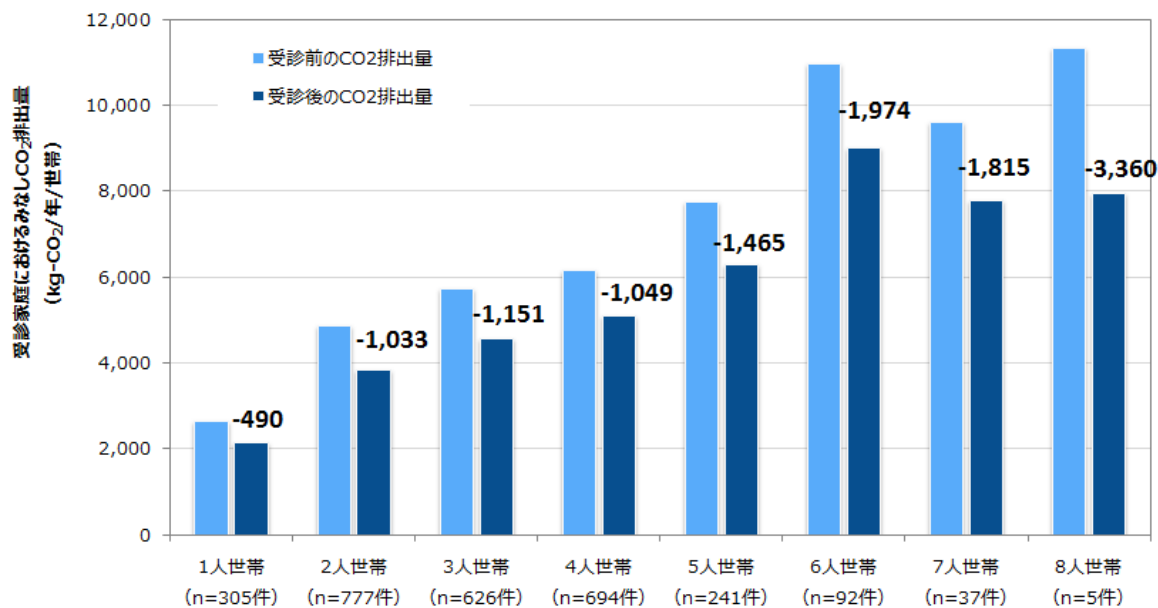


図 2 世帯人数別の診断前後の CO₂ 排出量の比較

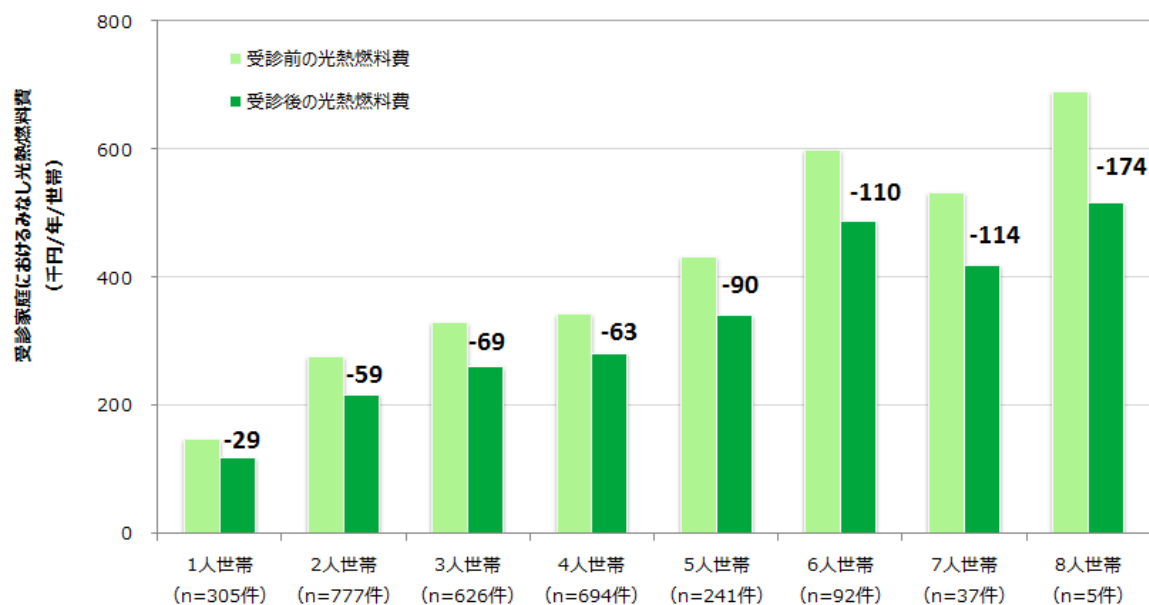


図 3 世帯人数別の診断前後のみなし光熱燃料費節約金額

- ※1 みなし CO₂ 排出削減量とは、受診前の CO₂ 排出量より受診後の CO₂ 排出量を引いたものをここでは言います。なお、受診後の CO₂ 排出量は、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果削減された CO₂ 排出量を示します。
- ※2 みなし光熱燃料費節約金額とは、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果節約された光熱燃料費を示します。
- ※3 節約金額については、設備投資金額が含まれていません。